

整形外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 Two-dimensional intraosseous wiring(two-DIOW)法を用いた指節間関節固定術の臨床成績

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 寶金 清博

【研究責任者名・所属】 河村 太介 （整形外科・助教）

【研究の目的】

変形性関節症や関節リウマチ、骨折などが原因により、手指の関節（指節間関節・中手指節関節）が破壊されると、痛みや関節の可動域制限が生じ、日常生活動作が障害されます。痛み止めの湿布や内服薬でも症状が抑えられない場合、手術治療が行われます。手指の関節障害に対する手術法として関節固定術が行われます。関節固定術は関節を構成する 2 つの骨を骨折を治療するように癒合させる、という治療法で、固定をした関節の動きは失われてしまいますが、優れた除痛効果が得られます。関節の固定には、細い金属性の鋼線を使用する方法やスクリューを使用する方法などがあります。当科では、手指の骨折治療に行われている two-DIOW 法による関節固定術を行っています。同法もこれまでに行われている他の術式と同様、細い鋼線を使用しますが、鋼線の締結法を工夫することでこれまでの方法と比較してより強固な固定が可能となることが期待されます。本研究の目的は two-DIOW 法による関節固定術を行った患者さんの臨床成績を検討することです。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

関節リウマチや変形性関節症などによる手指関節障害のため、平成 21 年 12 月から平成 28 年 6 月の期間に当科で two-DIOW 法による指節間関節固定術を受けている方

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見（関節可動域など）、合併症、画像診断結果（X 線検査）

【研究実施期間】 実施許可日～2018 年 3 月 31 日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院整形外科 担当医師 河村 太介

電話 011-706-5937 FAX 011-706-6054